

2-12 花の盛んに咲く時期はいつ頃ですか。また、他品種との自然交雑率はどの程度ですか。

盛花期: ①6月 ②7月 ③8月

自然交雑率: ④1%以下 ⑤5%以下 ⑥10%以下

落花生は関東の産地では5月中旬～下旬が標準的な播種時期で、マルチ栽培される場合が多くなっています。花の咲き始めは播種後35～40日後の6月下旬で、開花盛りは7月下旬、開花終りは8月上旬頃になります。

花はマメ科で一般的な蝶形花で、花径は1～2cm花色は黄色～橙黄色、けっこう可愛い花です。世界には白花もあるそうですが、日本には未導入、筆者も見たい者の一人です。

1株あたりの開花総数は200～300程度になりますが、栽培種では葉の陰に隠れて、7月の盛花期にも目立たないのが残念なところ。野生種の中には、草型が伏性で葉に隠れずに、花が絨毯状に長期間咲く種類が多く、鑑賞価値があります。他項で紹介しているピントイもその一つです。惜しむらくは、もう少し花が大きければといったところでしょうか。

さて2番目の問いについてですが、日単位で見ると、落花生は1日花で日の出とともに徐々に開花し、順調に受精が行われれば午後3時過ぎになると萎れ始めます。落花生は自殖性作物(植物)ですが、受精のための受粉は、日の出前の午前3～4時前後が多いと言われ、花が開かない蕾みの状態で受粉が行われます。この閉花受粉により他品種の花粉が受粉し受精する確率は極めて低く、0.1%以下の自然交雑率とされています。

他の品種をすぐ隣に植えると、自然交雑による品種劣化(異型株出現)が起こると心配する方がいますが、たくさん植える場合を除いて、その心配はほとんど無いと思われます。

正解 ②と④